

2020年度

事業報告書並びに収支計算書及び
貸借対照表、
正味財産増減計算書、財産目録

公益目的事業 1

駿府博物館の展覧会事業及び教育普及事業

A. 展覧会事業

1. 企画展 秋野不矩展【中止】

- 主 催 駿府博物館、静岡新聞社・静岡放送
後 援 静岡県教育委員会、静岡市教育委員会
■会 期 中止

※4月29日(水)から6月21日(日)まで、47日間の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染予防および拡大防止のため、開催を中止した。

2. 特別展 鈴木まもる 絵本原画と鳥の巣展【作家の意向等で中止】

- 主 催 駿府博物館、静岡新聞社・静岡放送
後 援 静岡県教育委員会、静岡市教育委員会
■会 期 中止

※7月23日(木)から9月22日(火)まで、54日間の開催を予定していたが、作家の意向(新型コロナウイルス感染症の感染予防および拡大防止)で、開催を中止した。

3. 所蔵品展 遺墨でたどる近代ニッポン

- 主 催 駿府博物館
後 援 静岡新聞社・静岡放送
■会 期 2020年8月1日(土)～9月22日(火・祝日)[46日間]
■開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
■休 館 日 月曜日(※8月10日は開館し翌日休館、9月21日は開館)
■会 場 駿府博物館(静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡新聞放送別館2階)
■入 館 料 《当日券のみ》高校生以上300円 中学生以下・障害者手帳ご提示の方は無料
■内 容

260年余り続いた江戸時代の終焉とともに日本の近代が始まりました。江戸(徳川)幕府の後に日本を率いた明治政府は西洋を手本に近代化を推し進めました。明治維新、文明開化、四民平等、富国強兵、殖産興業、脱亜入欧…これらのスローガンの下、日本は大きな変貌を遂げていきます。そんな日本の近代を政治や経済、文学など各分野の立役者、英傑たちの書から感じ取ってもらう展覧会を企画しました。

2024年から新紙幣の顔となる「日本資本主義の父」渋沢栄一をはじめ、初代内閣総理大臣の伊藤博文、山県有朋や西園寺公望らの書を駿府博物館所蔵品の中から展示、紹介しました。

入 館 者 有料:248人 無料:112人 合計:360人

4. 企画展 曾宮一念展 朽ちることなき心象風景

主催 駿府博物館、静岡新聞社・静岡放送

後援 静岡県教育委員会、静岡市教育委員会

特別協力 曾宮夕見、江崎晴城、藤枝オリコミピーアール、曾宮一念研究会

■会 期 2020年10月24日(土)～12月20日(土)[50日間]

※会期中、一部展示替えを行った。

前期：10月24日(土)～11月15日(日)

後期：11月17日(火)～12月20日(日)

■開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日 月曜日(※11月23日は開館し、翌日休館)

■会 場 駿府博物館(静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡 新聞放送会館別館2階)

■観覧料 高校生以上 500円 中学生以下・障害者手帳ご提示の方は無料

■内 容

曾宮一念は1893年(明治26年)東京市日本橋濱町(現・中央区日本橋浜町)に生まれる。本名、下田喜七(きしち)。1911年早稲田中学校を卒業後、東京美術学校西洋画科に入学。藤島武二、黒田清輝らに指導を受ける。東京美術学校卒業後は山下新太郎に師事し、中村彝(つね)に兄事する。1914年、文展で褒状、1925年二科展で樗牛(ちよぎゅう)賞を受賞、二科展、独立美術協会所属ののち1946年に国画会会員となる。1945年に度々作品の題材を得ていた静岡県富士宮市に移住。権威を嫌い世俗や時流に媚びず詩魂を書き込んだ独自の画風は当時より洋画家を代表する画家として注目され、全国各地にモチーフを求め作品を残しました。特に雲や荒れた海を好み、時には風雨に打たれながらスケッチする風景画家。1971年(昭和46年)78歳で両眼失明により画家を廃業。その後は随筆に専念し、1994年(昭和46年)、101歳で亡くなる。本展では代表作、裾野の雲、平野夕映え、荒園を中心に、前期、後期に分けて約30点ずつ展示しました。

■関連イベント

●オープニングギャラリートーク

解 説 堀切正人 氏(常葉美術館館長)

日 時 10月24日(土) 午前10時00分から(1時間45分程度)

会 場 展示室内

参加費 無料(※入館料のみ、但し事前募集の参加者20名は入館料無料)

内 容 堀切正人氏によるギャラリートーク。当日、事前募集の参加者(20名)には図録がプレゼントされた。

参加者：有料 4人、無料 26人、合計 30人

●特別ギャラリートーク

解 説 泰井良 氏(静岡県立美術館上席学芸員)

日 時 11月7日(土) 午後2時30分から(1時間45分程度)

会 場 展示室内

参加費 無料(※入館料のみ、但し事前募集の参加者17名は入館料無料)

内 容 静岡県立美術館上席学芸員 泰井良氏によるギャラリートーク。

参加者：有料 0人、無料 17人、合計 17人

●特別ギャラリートーク

解 説 ナカムラクニオ 氏(アートディレクター)

日 時 中止

※12月12日(土)開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染予防および拡大防止のため、開催を中止した。

●『登呂ミュージアムストリート 2021』イベント: マーブル模様のはがきを作ろう

解 説 佐藤阿佑 (駿府博物館学芸員)

日 時 11月1日(日)、11月14日(土) 両日とも午後1時から3時30分

会 場 駿府博物館内

参加費 無料(※入館料のみ)

内 容 参加者は水にマーブリング用の絵の具を落として、水面に広がる模様を竹串をつかい線を描き、はがきに写し取り作品を制作した。

参加者:合計6人(一般5人、小学生1人)

入館者 有料:1,042人 無料:485人 合計:1,527人

5. 企画展 御宿至彫刻展【延期】

主 催 駿府博物館

後 援 静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、静岡新聞社・静岡放送

■会 期 次年度に延期

※新たに1月23日(土)から2月28日(日)まで、32日間の開催計画を立てたが、新型コロナウイルス感染症の感染予防および拡大防止のため、開催を次年度に延期した。

6. 第44回蘇峰会静岡県書道展【中止】

主 催 駿府博物館(公益財団法人 静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団)

共 催 公益財団法人蘇峰会、静岡新聞社・静岡放送

後 援 静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、静岡県書道連盟

■会 期 中止

※3月9日(火)から3月21日(日)まで、12日間の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染予防および拡大防止のため、開催を中止した。

2020年度 展覧会 入館者	有料	1,290人 (3,086人)	無料	597人 (1,069人)	合計	1,887人 (4,155人)
----------------------	----	--------------------	----	------------------	----	--------------------

※ () 内は令和元年度実績

B. 教育普及活動

1. 第 17 回駿府博物館短期歴史講座

静岡県の近代史研究シリーズ第 8 弾「静岡ゆかりの近現代日本の先駆者」

- 主 催 駿府博物館
- 協 力 静岡県近代史研究会
- 会 場 静岡 新聞放送体育館 2 階(静岡市駿河区登呂 3-1-1)
※新型コロナウイルス感染症の感染予防および拡大防止のため、会場を体育館に変更した
- 受講料 一般 3,000 円 高校生・大学生・大学院生 2,000 円
(全 3 回分、税込、資料代含む)
- 募集人数 40 名
- 受講者数 44 名
- 内 容 2013 年から静岡県近代史研究会にご協力をいただき、「静岡県の近現代史研究シリーズ」として明治・大正・昭和の政治・産業・教育・文化・思想などについて最新の地域史研究を交え、広く県民の皆様が学べる機会を提供した。本年度は、「静岡ゆかりの近現代日本の先駆者」をテーマに 3 回にわたって専門家が講義をした。
- 日時・講師・テーマ
- 【第 1 回】2020 年 9 月 19 日(土)13:30-15:30
『静岡藩出仕時代の渋沢栄一 —静岡藩商法会所・常平倉をめぐって—』
講師 静岡県近代史研究会幹事 岡村龍男氏
- 【第 2 回】2020 年 10 月 10 日(土)13:30-15:30
『河井弥八と近衛新体制運動』
講師 静岡県立大学国際関係学部国際関係学科教授 森山優氏
- 【第 3 回】2020 年 10 月 31 日(土)13:30-15:30
『郷土部隊とともに歩んだ柳田芙美緒』
講師 静岡県近代史研究会幹事、掛川東高等学校教諭 村瀬隆彦氏
当日、柳田芙美緒氏親族 2 名がゲスト参加(娘の柳田夕映様と大串英明様)

延べ参加者数：109 人 (1 回 38 人、2 回 34 人、3 回 37 人)

◇ 2020 年度博物館利用者数 2,049 人

事 項	有 料	無 料	合 計	備 考
展覧会入館者数	1,290	597	1,887	2 展覧会
講座参加者数	107	2	109	1 講座 3 回
イベント参加者数	4	49	53	2 イベント 4 回
博 物 館 利 用 者 数 総 計			2,049	

公益目的事業 2

社会福祉事業及び災害救援活動への助成及び支援

A. 社会福祉事業への助成及び支援

「第 58 回愛の都市訪問」

社会福祉事業「愛の都市訪問」を実施した。県民の皆様から寄せられた寄付金で寄贈品を購入し、県民の社会福祉に役立てた。県民のボランティアに対する理解を深め、地域福祉の応援とボランティア活動を支援するための物品を寄贈した。必要とされている物を必要としているところに届けるため、財団ホームページと静岡新聞及び静岡放送を通じて県内から広く公募し、選考委員会で審査の上、寄贈先と寄贈品を決定した。

1. 寄付金	総額	3,977,005 円	2019 年度繰越金	1,187,111 円	合計	5,164,116 円
2. 寄贈団体	車両・・・1 団体		資機材・・・3 団体			
3. 助成金額	合計	3,059,580 円				
4. 繰越金	合計	2,104,536 円				

B. 災害救援活動への助成支援

「令和 2 年 7 月豪雨災害義援金」

2020 年 7 月に九州をはじめ日本各地に甚大な被害をもたらした豪雨災害被災地への義援金受け付けを行い、全額を日本赤十字社静岡県支部に寄付した。

義援金 1,009 件 総額 26,060,915 円

公益目的事業 3

地域のために献身的な活動を続ける個人及び団体の表彰

「第 10 回ふるさと貢献賞」

地域のために献身的な活動を続ける個人・団体を表彰する「ふるさと貢献賞」を実施した。表彰は「学校の部」「企業・団体の部」「個人の部」の 3 部門で行った。

表彰団体

「学校の部」	5 団体
「企業・団体の部」	8 団体
「個人の部」	4 団体

収益事業

A. 展覧会印刷物の制作・図録・グッズ販売

1. 所有物品の販売（ファイル、図録） 有料販売
2. 委託物品の販売（はがき、書籍、カレンダー等） 有料販売

館内業務

1. 職員の異動

2021年3月1日、事務局次長の佐野久恵が本社に異動し、堀池順子が事務局次長に就任した。

2. 所蔵品の写真撮影

(有)オザワスタジオ(静岡市駿河区登呂5-7-20)に依頼し、2021年発行予定「駿府博物館所蔵名品図録」用追加作品8点の撮影を行った。

3. 作品・資料の購入・寄贈・寄託

1) 作品の寄贈

書家の大谷青嵐氏(浜松市)より自作の書画「武夷山図」、書「清風名月」、書「不風流處在風流」の3点が寄贈され2021年4月1日に受領証書を交わした。

館外業務

1. 作品の貸与・出品

該当事項なし。

2. 写真撮影及び掲載等

1) 貸出先 静岡市歴史文化課

作 品 土佐光成「駿府鳥瞰図」、徳川家康「書状 中村式部少輔宛」

貸出品 作品画像データ

使用目的 (仮称)静岡市歴史文化施設 基本展示 解説グラフィックパネル、駿府城公園「東御門・巽櫓」常設展示 解説グラフィックパネル(2ヶ所)に使用。

貸出料 25,000円

貸与期間 (仮称)静岡市歴史文化施設 2022年秋-同施設が存在する限り

駿府城公園「東御門・巽櫓」 2021年4月1日-同施設が存在する限り

2) 貸出先 IVSテレビ制作(株) 社長 福浦 与一

作 品 土佐光成「駿府鳥瞰図」

貸出品 作品画像データ

使用目的 テレビ番組名「ザ!鉄腕!DASH!!(企画:グリル厄介)」内で、駿府城の歴史について紹介する資料として使用。(図の全体を3秒間程放映。Web配信「TVer」で同時配信と一定期間見逃し配信する。)

貸出料 30,000円

貸与期間 2020年12月12日(土)~12月20日(日)

駿府城公園「東御門・巽櫓」 2021年4月1日-同施設が存在する限り

3. 契約継続事項

1. (株)江崎新聞店と静岡新聞セット購読契約 (平成26年8月1日～)
2. 総合警備保障(株)と機械警備契約 (平成26年12月24日～)
3. 総合警備保障(株)と警備機械リース契約 (平成27年1月2日～)
4. リコーリース(株)とコピー機のリース契約 (平成27年1月1日～)
5. 静岡放送(株)と事務所及び展示室の賃貸契約 (平成27年1月1日～)
6. ユニー(株)アピタ静岡と駿府博物館展覧会チケット販売業務委託 (平成27年1月1日～)
7. (株)ケイエムアドシステムと静鉄バスの車内アナウンス契約 (平成27年1月1日～)
8. 杉山明喜雄公認会計事務所と会計顧問契約 (平成27年7月～)
9. 杉山明喜雄公認会計士事務所とTKC会計システムFX2のリース契約 (平成27年7月～)
10. クマリフト(株)と階段昇降機保守点検作業契約 (平成28年9月1日～)
11. 如水会とカレンダー「禅の心」の販売委託契約 (令和2年10月～令和3年1月まで)
12. (株)静岡日立と空調設備保守点検作業契約 (平成30年8月1日～)

事業報告の付属明細書

該当事項、ありません。